

聖德太子御書

分類 254部
第 189号
全 10册卷
佛教大学
図書館所蔵
受領第 21177号
昭和 年 月



0931 貴重書
20 年月
1 日
佛教大学蔵書
第 21177号





本朝祖師繪詞第一

一卷

序 出胎事

時國死門事

二卷

定明 遂電事

菩提寺入室事

三卷

小兒上洛事
童子入洛事

同登山事

四卷

同出家事
黑谷隱居事

黑谷慈眼房渡事
功德院渡事

嗟峨釋迦堂叅詣事

南都渡給事

仁和寺華嚴談義事

御室叅會事

五卷

慈眼房法談事

拾貳番

拾冊



弘法大師夢中問答事

圓頓戒談義事

月輪上人與山僧法談事

上人與靜嚴法印堅義傳受事

黒谷聖人傳繪詞第一卷

第一段

夫以我本師釋迦如來。アマ子ク流浪三界ノ迷徒ヲ。
スクハンカタメニ。フカク平等一子ノ慈願ヲ。オコシニ。ヒマスニ
ヨリテ。忽ニ無勝莊嚴ノ化ヲカクシテ。忝モ娑婆濁惡ノ國
ニ入り給シ。ヨリコノカタ。非生ニ生ヲ現シテ。無憂樹ノ花
アミヲフクミ。非滅ニ滅ヲ唱テ。堅固林ノ風心ヲイタマシム。
在世八十箇年。慈雲ヒトシク。群生ニオホヒ。滅後二千
餘廻。法水ナヲ。三國ニテカル教門。シナコトニ。利益コレマチ
マチナリ。ソノナカニ。聖道ノ一門ハ。穢土ニシテ。自カヲハケマレ。
濁世ニアリテ。得道ヲ期ス。但オンラクハトキ。澆季ニ及テ。二

空ノ月クモリヤスク。心塵縁ニハセテ。三惡ノホノホ。マカシ
カタシ。煩惱具足ノ凡夫。順次ニ輪迴ノ里ヲ出ヌヘキハ。コ
シ淨土ノ一門ノミナリ。コレニツキテ。諸家ノ解尺。蘭菊表
ヲホシキマ、ニストイヘトモ。唐朝ノ善導和尚。彌陀ノ化身
トシテ。ヒトリ本願ノ深意ヲアラハシ。我朝ノ法然上人。勢
至ノ應現トシテ。モハラ稱名ノ要行ヲヒロメタマフ。和漢國
コトナレトモ。化導一致ニシテ。男女貴賤。信心ヲ得ヤスク。
紫雲異香。往生ノ瑞スコフルシケシ。念佛ノ弘通コ、ニ尤
サカンナリトス。シカルニ上人遷化ノノチ。星霜ヤ、ツモレリ。
教誡ノコトハ。利益ノアト。人ヤウヤクコレヲランセス。モレシ
ルシテ。後代ニト、メスハダシカ賢ヲミテ。ヒトシカラシコトヲオモ

ヒ。出離ノ要路アルコトヲ。シラン。コレニヨリテ。ヒロク前聞ヲト
フラヒ。アマ子ク。舊記ヲカンカヘ。マコトヲエラヒ。アヤマリヲタ、レ
テ。粗始終ノ行狀ヲ勒スルトコロナリ。ヲロカナル人ノサトリ
ヤスク。ミンモノ、信ヲス、メンカタメニ。數軸ノ畫圖ニアハシテ。
萬代ノ明鑒ニソナフ。往生ヲコヒ子カハントモカラ。ダシカコノ
コ、ロサシヲヨミ世サラン。抑上人ハ。羨作國久米ノ南條
稻岡ノ注ノ人ナリ。父ハ久米ノ押領使。漆ノ特國。母ハ秦
氏ナリ。子ナキコトヲナケキテ。未婚心ヲ一ニシテ。佛神ニ祈
申ニ。秦氏夢ニ剃刀ヲノムトミテ。スナハチ懷妊ス。特國カ
云汝ガハラメルトコロ。サタメテコシ男子ニシテ。一朝ノ戒師
タルヘシト。秦氏ツノコ、口柔和ニシテ。身ニ苦痛ナシ。カタク

酒肉五辛ヲタチテ。三寶ニ歸スル心フカ、リケリ

第二段

ツ井ニ崇徳院ノ御宇。長兼二年四月七日。白午ノ正中ニ。秦氏ナヤムコトナクシテ。男子ヲウム。時ニアタリテ。紫雲ソヒク。館ノウチ家ノ西ニモトフタニタニシテ。スエシケクタカキ。椋ノホアリ。白幡一流トヒキタリテ。ソノコスエニカ、シリ。鈴鐸天ニヒ、キ。文彩日ニカ、ヤク。七日ヲ經テ。天ニホリテサリヌ。見聞ノ輩奇異ノオモヒヲ。ナサストイフコトナシ。コレヨリ彼、ホヲ兩幡ノ椋ノ木トナツク。星霜カサナリテ。カタフキタフシムタシト。異香ツ子ニ薫シ。奇瑞タルコトナシ。人コシヲアカメテ。佛閣ヲタテ、誕生寺ト号シ。影堂ヲツクリテ。念佛ヲ

修せしム。昔應神天皇御誕生ノ時。八ノ幡クタル。正見正語等ノ八正道ニ住シタマフレル。ナリトイヘリ。イマ上人出胎ノ瑞コトノ儀アヒオナシ。サダメテフカキ心アルヘシ

第三段

八正道者 正見 正思惟 正語 正業 正命 正精進 正念 正定 所生ノ小兒字ヲ勢至ト号ス。竹馬ニ鞭ヲアクルヨハヒヨリ。ソノ性カレコクシテ。成人ノコトシヤ、モスシハ。西ノ壁ニムカヒ。井ルクセアリ。天台大師童稚ノ行狀ニ。タカハスナン侍ケル

第四段

カノ時國ハ先祖ヲタツヌルニ。仁明天皇ノ御後。西三条右大臣 光公ノ後胤式部太郎源ノ年。陽明門ニシテ。蔵人兼高ヲ敏ス。其科ニヨリテ。表作國ニ配流セラレ。コ、

三當國久米ノ押領使。神戸ノ大夫。漆ノ元國カムスメニ
嫁シテ男子ヲムシム。元國男子ナカリケシハ。カノ外孫ヲ
モチテ子トシテツノ跡ヲツカレムルトモ。源ノ姓ヲアラハメテ。漆
ノ盛行ト號ス。盛行カ子重俊。々々カ子國弘。々々カ子
時國ナリ。コレニヨリテ。カノ時國。聊本姓ニ慢スル心アリテ。
當庄源ノ預所。明石ノ源内武者定明伯耆守源長
明カ嫡男ヲ
ノ河院御在位アナツリテ。執務ニシタカハス。面渴エツサリケ
シハ。定明イマフカク遺恨シテ。保延七年ノ春。時國ヲ夜討ニ
ス。子トキニ九歳ナリ。ニケカクシテ。モノ、ヒマヨリ見給ニ。
定明庭ニアリテ。箭ヲハケテタテリケシハ。小矢ヲモチテコレヲ
イル。定明カ目ノアヒタニタチテケリ。ゴノ疵キズカクシナクテ。事ノ

ラハシヌヘカリケレハ。時國カ親類シニルイノアタヲ報セシ事ヲオソシ
テ。定明遂電イシテ。ナカク當庄ニイラスソレヨリコレヲ。小矢兒
トナツク。見聞ノ諸人。感歎セストイフコトナシ

第五段

時國フカキ疵キズヲカウフリテ。死門ニソムトキ。九歳ノ小兒
ニムカヒテイハク。汝サラニ會イハ誓イノ耻ハヲ思ヒ。敵人ヲウラムル事
ナカリ。コレ偏ニ先世ノ宿業クナリ。モレ遺恨ヲムスハ。ソノア
タ世々ニツキカタルヘシ。レカシハヤク。俗ヲノカシ。家ヲ出テ。
我菩提ヲトフラヒ。ミツカラノ解脫トクヲモトメンニハトイヒテ。端
坐シテ西ニムカヒ。合掌シテ佛ヲ念シ。子フルカコトクシテ。息
タエニケリ

第二卷

第一段

定明^{トウメイ}逐^{シユ}電^{デン}ノノ^チ隱居ノ心^{シツカニシテ}已^{コト}造^{チカ}ノ罪^{ツクヒ}ヲクヒ。當來ノ苦^{ウケ}ヲカナシ^シミ。念佛ヲコタラスシテ^{シテ}往^キ生^ノ望^ヲトク。其子孫^{ミナ}上人ノ餘^{ヨリ}流^リヲウケ^テ淨土ノ一行^ヲム子^トセリ。小兒^タ、人ニアラス^ト豈^ア惡^ク敵^キヲウラムル心^{アラ}ンヤ。定明^{トウメイ}疵^キヲカクフルニヨリテ。跡^ヲカクシ^テ往^キ生^ヲトケ^テ子孫^又淨土門ニ入^ル。權^ハ化^ノ善巧^{ナル}ヘシ。迷情^アヘテ^アヤシ^ミヲナスコトナカシ

第二段

當國ニ菩提寺トイフ山寺アリ。カノ寺ノ院主^シ觀覺得業

叔^{ウチ}

ト云ケルハモト延^ニ曆^リ寺ノ學徒^{ナリ}ケリ。大業ノ望^ヲ達^セサ^ルルコトヲウラミテ。南都ニウツリ。法相ヲ學^シテ。所存^ヲトクヒサシ^ノ得業^ト申^{ケル}。秦氏^カ弟^{ナリ}ケレハ。小兒^ノ姝^ク丸^ウヘ^父遺^言ノコトアリケレハ。童子^彼室^ニイリヌ。學文^ノ性^ナカル、水ヨリモスミヤカニシテ一ヲ聞^テ十ヲサトルキクトコロノコト憶^持シテ更^ニラスル、コトナシ

第三段

觀覺小兒ノ器量^ヲミルニイカニモタ、人ニアラス。オホエケシハイタツラニ邊鄙^ノ塵^ニ。混^{セン}事^ヲラシ^ミテ。ハヤク台嶺^ノ雲^ニヲ。クランコト^ノ支^度ケル。レカルヘキ事^ニヤアリケテ。小兒^ノオモムキヲキ、テ舊^屋ニト、マルコ、ロナク。花洛^ヲ

イソク思ノミアリ。觀覺ヨロコビテ。コノ兒ヲ相具メ。母ノ所ニ
行テ。コノヨシヲカタル。兒童母儀ヲコレラヘテイハスウケカタ
中人身ヲウケ。アヒカタキ佛教ニアフ。眼ノマヘノ無常ヲミテ。
夢ノ中ノ榮耀ヲイトフヘシ。就中ニ亡父ノ遺言耳ノ底
ニト、ニリテ。心ノヲチニラス。スバヤク。四明ニホリテ。スミヤカ
ニ一乘ヲマナフヘシ。タ、シ母世ニイマサン。程ハ晨昏ノ禮ヲ
イタシ。水菴ノ孝ヲツトムヘシトイヘトモ。有爲ヲイトヒ。無爲
ニイルハ。眞實ノ報恩ナリトイヘリ。一旦ノ離別ヲカナシミ。
永日ノ悲歎ヲノコシ給。コトナカレト。再ニナクサメ申。母
堂コトハリニオシテ。業諾ノ詞ヲノフトイヘトモ。袖ニアマルカ
ナシミノ涙。小兒ノシロカミヲラルホス。有爲ノナラヒ。シノヒカ

豆

タク。浮生ノワカレマトヒヤス。カクソオモヒツ、ケケル
カタミトテハカナキオヤノト、メテレコノ別サヘ。又イカニセニ
サテシモアルヘキナラ子ハ。叡岳西塔ノ北谷。持寶房源光
カモトニツカハス。觀覺カ狀ニ云。進上太聖文殊像一體
ト。コレ智慧ノスクレタル事ヲ。レメス心ナリケリ

第四段

童子十五歳。近衛院御宇。又安三年ノ春二月十三
日ニ。千重ノ霞ヲワケテ。九禁ノ雲ニイル。ツリミキエテ。法
性寺殿。干時接政ノ御出ニ。イリアヒタテマツル。小兒馬ヨ
リオリテ。道ノ傍ニ侍ニ。御車ヲト、メラヒテ。イツクノ人ソト。
御尋アリケレハ。ツクリノ僧事ノヨシヲ申シ。ア多。御禮儀アリ

テスキサセ給。供奉ノ人々、テ外ノ思ヲナスノキニ仰ラレケルハ。路次ニアフ所ノ小童。眼ヨリ光ヲハナツ。イカニモタ、モノニアラサルコトヲシレリ。又コレニヨリテ。燈ヲナレキトツ仰ラレケル。月輪殿ノ御歸依アサカラサリケルモ。彼物語ヲ神耳ノ底ニトメラレケルユヘニセアリケント。オホツカナレ

第三卷

第一段

童子入洛ノ後マツ觀覺得業カ狀ヲ持寶房ニ遣ス。源光觀覺カ狀ヲ披覽シテ。文殊ノ像ヲタツマルニタ、小兒ノミ上洛セルヨシ。使者申ケレハ。源光ハヤク。兒童ノ聡明ナル事ヲシリヌ。スナハチ兒ノムカヘニツカハレケレ。同十五日

ニ登山ス

第二段

獨木カケハシアホラク。九花イロメツラシ。持寶房ニイタリ給ヌ。試ニマツ四教義ヲサツクルニ。籤ヲサシテ不審ヲナス。ツタカフトコロミナ。圓宗ノフルキ論義ナリケリ。マコトニタ、人ニアラスト。申アヘリケリ

第三段

コノ兒ノ器量トモカラニスキテ。名譽アリ。一カハ源光ワシハコシ。魯鈍ノ淺才ナリ。碩學ニツケテ。圓宗ノ奥義ヲキハメシメムト云テ。又安三年四月八日。コノ兒ヲ栢具ノ功德院ノ肥後阿闍梨皇圓ノモトニユキテ。入室セシム。彼皇圓ハ

兄ス 相ス

栗田ノ関白四代ノ後。河權守重兼カ嫡男。少納言
資隆朝臣ノ長兄。揚生ノ皇覺法橋ノ弟子。當時ノ明
近一山ノ雄才ナリ。關梨少生ノ聰敏ナルコトヲキ、テ驚
テイハク去夜ノ夢ニ滿月室ニ入トミルイニコノ法器ニアフ
ヘキ前兆ナリケリト云。悦申サレケル

第四段

同年十一月華髮ヲソリ。法衣ヲ著シ。戒壇院ニシテ大乘
戒ヲツケ給ニケリ

第五段

アル時ステニ出家ノ本意ヲトケ侍。又イニヲキテハ。跡ヲ林
藪ニノカレントオモフヨシ。師範ノ關梨ニ申サレケレハ。タトヒ

隱遁ノ志アリトモ。マツ六十卷ヨミテノホソノ本意ヲ遂ヘ
中ヨシ。關梨イサメ給ケレハ。ツレ閑居ヲ子カフ事ハナカク。各
利ノ望ヲヤメテ。ピツカニ佛法ヲ修學センヌメナリ。コノ仰マ
コトニシカナリトテ。生年十六歳ノ春。始テ本書ヲヒラク。
三箇年ヲヘテ。二大部ヲツタリ給ヌ

第六段

慧解天然ニシテ。秀逸ノキコエアリ。四教五時ノ癡立鏡
ヲカケ。三觀一心ノ妙理。玉ヲミカク。所立ノ義勢。殆ト師
ノヲシヘニヨエタリ。關梨イヨイヨ感歎シテ。學道ヲツトメ。大
業ヲトケテ。圓宗ノ棟梁トナリタマヘト。ヨリヨリコシラヘ申
サレケレトモ。更ニ兼諾ノ詞ナシ。ナヲコシ名利ノ學業ナル

統

事ヲイトヒ。タチマ千ニ師席サキヲシ解トクシテ。又安六年九月十二日。生年十八歳ニシテ。西塔タ黒谷ノ慈眼房ジガンボウ叡空エウクウノ廬ロニイタリ。又幼稚ノ昔ヨリ成人ノ今ニ至マテ。父ノ遺言ウイゴンヲスレカタクシテ。トコシナヘニ隱遁イントンノ心ココロヲカキヨシヲノヘ。給タテマニ。少年ニシテハヤク出離シュツリノ心ココロヲオコセリマコトニコシ法然道理ノヒシリナリト隨喜ズイキメ。法然房ト号シ。實名ハ源光ノ上ノ字ト。叡空ノ下ノ字ヲトリテ。源空トソツケラレケル。ガノ叡空上人ハ。大原ノ良忍上人ノ附屬。圓頓戒相兼ノ正統テイシュナリ。偷伽秘密トウカヒミツノ法ニアキラカニシテ。一山コレヲユル。四海コレヲウツヒケリ

第四卷

第一段

上人黒谷ニ蟄居チキキノ後ハ。偏ニ名利ヲステ。一向ニ出要シュヤウヲモトムル心切ナリ。コレニヨリテイツシノ道ヨリカ。コノタヒタシカニ生ナマ死シヲハナルヘキトイフコトヲ。アキラメンタメニ。一切イツセツ經キヤウヲ披閱ヒケンスルコト數遍スウベンニヲヨヒ。自他宗ノ章疏シヤウシュ。眼ガンニアテストイフコトナシ。慧解ヱゲ天然ニシテ。ソノ義理ヲ通達スアルトキ天台智者ノ本意ヲサクリ。圓頓一實ノ戒体ゲイタイヲ談タンシ給タテマニ。慈眼房ハ心ヲモテ。戒体トストイヒ。上人ハ生ナマ無ム作サクノ假色カシキヲモテ。戒体トストタテマフ。立破リツパ再シニヲヨヒ。問答多時モンタウタシヲウツストキ。慈眼房腹立ハツタテシテ。木枕キマクシヲモテウタシケレハ。上人師ノ前ヲタハレニケリ。慈眼房思惟シウイスルコト數尅スウカクノ後。上

人ノ部屋ニ來臨シテ。御房ノ申サル、首ハヤ天台大師ノ本意。一實圓形ノ至極ナリケリトソ申サシケル。佛法ニ私ナチコト。アハシ三ハシヘリ。ガ、リケレハ上人ヲモテ軌範トシテ。師カヘリテ弟子トナリ給ニケリ

第二段

保元々々年上人二十四ノ歳。叡空上人ニイトマコヒテ。嗟峨ノ清涼寺ニ。七日參籠ノコトアリキ。求法ノ一事ヲ祈請ノタメナリケリ。ゴノ寺ノ本尊釋迦善逝ハ西天ノ雲ヲイテ。東夏ノ霞ヲワケテ。三國ニツタハリタニヘル靈像ナシハトリワキ懇志ヲハコヒ給ヒケルモ。ゴトハリニソオホエ侍ル

第三段

上人ソノ性俊ニシテ。大卷ノ文ナレトモ。三遍ヨシヲ見給ニ。又クラカラス。義アキラカナリ。諸教ノ義理ヲアキラメ。八宗ノ大意ヲウカ、ヒエテ。カノ宗々ノ先達ニアヒテ。ソノ自解ヲノヘ給ニ。面々ニ印可シ。各々ニ稱羨セストイフコトナシ。清涼寺ノ參籠七日滿シケレハ。ソレヨリ南都ヘクタリ。法相宗ノ碩學。藏俊僧都贈僧ノ房ニイタリテ。修行者ノサマニテ。對面シ申サント申サレタリケリ。大床ニオハシケルヲ。僧都イカ、オモハレケシ。アカリ障子ヲアケテ。ウチハ請レイシタテマツリテ對面シ。法談トキヲウツサレケリ。宗義ニツキテ不審ヲアケラシケレシ。僧都返答ニヲヨハサル事トモアリケリ。上人コ、ロミニ獨學ノ推義ヲノヘ給ケレハ。僧都感歎シテイ

ハク貴房ハタ、人ニテラス。オソシクハ大權ノ化現致。昔ノ論
 主ニアヒタテマツルトモ、コレニハスクヘカラスト。オホユルホトナリ。
 智慧深遠丸コト。言語道断ナリトテ。一字ヲタテマツリ。一
 期ノアヒタ。毎年ニ供養ヲノフルコトヲコメリナスリケルトナシ
 第四段 八不中道者 不生亦不生 不來亦不去 不常亦不断 不一亦不異
 醍醐ニ三論宗ノ先達アリ。權律師寛雅コレナリガシコニ
 ユキテ。所存ヲノヘ給ニ。律師スヘテモノイハス。ソチニタチイリ
 テ。文撰十餘合ヲトリイタシテ。予カ法門附屬スル二人ナ
 シ。キミステニコノ法門ニ達シ給ヘリ。コトコトク秘書ヲ附屬
 レタテマツルトテコレヲ進ス。稱義讚嘆ノコトハ。カマハライタキ
 程ナリ。進士入道阿性房等御共シテ。コノ事ヲ見聞シテ。

奇特ノオモヒヲナシケリ

第五段

華嚴十住心 一 異生羖羊心 二 愚童
 持齋心 三 嬰童無畏心 四 唯蘊無我心 五 拔業
 目種心 六 他緣大乘心 七 覺心不生心 八 一道
 無為心 九 極無自性心 十 秘密莊嚴心

仁和寺ニ華嚴宗ノ名近アリ。太納言法橋慶雅ト号ス。
 仁和寺ノ岡トイフ所ニ居住セルユヘニ。岡ノ法橋ト申
 ケル。醍醐ニモカヨヒケルニ。醍醐ノ法橋ト申ハ。カノ法
 橋ハ上人ノ弟子阿性房ノシリウ人ナリケシ。上人華嚴
 宗ノ不審ヲタツ子トハレンヌメニ。阿性房ヲアヒ具シテ。ムカ
 ヒタマヘルニ。法橋マツ左右ナク申イタス様ハ。弘法大師ノ

正

本
意

十住心ハ華嚴宗ニヨリテツクリ給ヘリ。ゴノ旨ヲ御室ニ申
 トコロニ與アルコトナリ。パヤク勘申ヘキヨシ。オホセラカウフル
 アヒツ。ゴノホトカシカヘ侍ナリト申トキ。初對面ナレハサテモ
 アルヘケシトモ。學問ノナリハ。黙止レカタク。オモハレケルニヨ
 リテ。上人ノ給ケルハ。ナニシカハ。華嚴宗ニハヨリ侍ヘキ。大
 日經ノ住心品ノ心ヲモテツクラレタルニテコソ侍シ。第六
 ノ他縁大乘心ハ。法相宗ノ心ナリ。第七ノ覺心不生心
 ハ。三論宗ナリ。第八ノ一道無爲心ハ。天台宗ナリ。第九ノ
 極無自性心ハ。華嚴宗ナリ。第十ノ秘密莊嚴心ハ。真言宗
 ナリト云ハシメ異生羴羊心ヨリハリ秘密莊嚴心ニテ。ヲノ
 ヲノ偈ヲ誦シテ。一々ニソノ道理ヲ尺シ給テ。淺深ヲタテ。

勝劣ヲ判スルコトハ。諸宗ヲノヲノ難ヲクハヘ。不受シ申ナ
 リ。天台宗ニ難申様ナト。クハシク尺レノヘラシ。又華嚴宗ノ
 自解ノ據ヲ。コマカニ申ノヘ給ニ。法橋コレヲキ、テ。阿性房
 ノ縁ニハシヘルヲヨヒテ。コレハキ、タニフカコレカヤウニコ、ロエ
 テニニ。往生し損レテシヤト感嘆シテ。コレノ宗ヲ相兼スト
 イヘトモ。カクノコトク分明ナラス。上人自解ノ法門ヲキクニ。
 下愚處々ノ不審ヲヒラク。他宗推度ノ智慧。自宗相傳
 ノ義理ニゴエタマヘリトテ。喜感歎ハナハタ。ガクノコトク
 シテ。カヒニ法談數尅ノ後。ゴノ宗ノ血脉ニイリ侍ハヤト。
 上人ノタマヘハ。慶雅カウエニヤト。法橋申サル、間イカ、サ
 ルコトハ侍ヘキ。華嚴宗ヲハ。ゴトサラ傳受シタテ。ツラント。存

スルナリト申サレケシハ。血脈ナラヒニ華嚴宗ノ書籍シヨミヤク。少々
ワタニタテマツリヌ。サテカノ法橋寂後ニハ。上人ヲ召請シテ。
戒ヲウケテ二字ヲタテマツル。戒ノ布施ニハ。圓宗文類トイフ
餘ニノ文ヲトリイタシテ。慶雅ハコノホカハモ千タルモノハニヘ
ラス。上人モコトモノヲハナニカハセサセ給ヘキトテ。黒谷ヘソ
送進シケル。上人ノタマヒケルハヨキ學生ニナリヌ。ハカクノ
コトク。歸スヘキコトニハ歸スルナリ。コノ法橋ハ華嚴宗ニトリ
テハヨキ名近ナリ。弁曉ベンキョウ法印モ慶雅法橋ノ弟子ナリトソ。
オホセラレケル

第六段

上人諸宗ニ通達シタマヘルコト人口アマ子キウヘ慶雅ケイカ

佛敎大學

法橋御室ツカノ御前ニテ。自門他門オホクノ學生ニアヒ侍ツ
シトモ。ゴノ上人加様ニモノ申僧コソ侍ラ子ト。稱義セウギ申ケ
ルヲキコシメサシテ。御室ヨリ上人ヲ召請セラシ。天台宗ヲ
學セラルヘキヨシ。オホセラレケシハ。天台宗ハ昔ハカタノコトク。
傳受デンジュシ侍シカトモ。今ハ但念佛ニナリテ。天台宗ハ廢忘ヘイオウシ
侍ウヘ。山門ニ澄憲テイケン。三井ニ八道顯ハチダウケンナト。申名近シメチカタチハンヘ
リ。カノ人々ニメシトハルヘキカラノツカラカヘリキ。侍ランモ。
ツノハハカリ侍ヨシヲ。申給レカハ。ミナラケタマハリヲキタルコト
ナリ。色題シキダテノ詮サン侍ラストテ。カサ子テシキリニ。仰ラシケシトモ。
ナラカタク辞退ジタイシ申給ヘハ。アラハ念佛ノコトヲ學セラルヘ
シ。ソノツイテニ少々談義侍ヘシナト。オホセラレケシトモ。自

然ニ延引^{マシ}レテ。日月ヲクラヒケルニ。後白河ノ法皇^{サイコ}寂後
ノ御時。上人御善知識ニ^{サシ}サシテ。マイリ給ケルトキ。御室^{ミモ}
モ御^{サシ}參會アリケルニ。ソノコトオホセラレイタシテ。コノアヒタ住
京ノツイテニ。素懷^{ソウケ}ヲトケハ。イカ、侍ヘキト。仰ラレケシハ。加
様ノオリフシハ。物志^{モノシ}ニモ侍リ。マタキトメサル、コトモ侍ラ^ニ時
ハ。中間ニモノ申サシ。侍ランコトモアシク侍シハ。レツカニ參上
仕ヘシトテ。ソノツイテモムナシクヤミニキ。其後イク程ナクテ。
御室モウセサセ給ニシカハ。ツ井^{ツヅ}ノ節^ノヲトケラレストイヘト
モ。懇切^{コンセツ}ノ御志ヲツクサシレモ。上人諸宗ニ達^{ダツ}シタマヘルユ
ヘナリキ

第五卷

第一段

上人ノタ^ハバク。學問ハハシメテ見ヌツルハ。キハメテ大事也。師
ノ説ヲ傳習^{デンシツ}ハハスキナリ。シカルニ我ハ諸宗ニミナミツカラ章^{シヤウ}
疏^シヲ見テ心エタリ。戒律ニモ中ノ川ノ少將ノ上人。偷蘭^{トウラン}
又トイフ。名目ハカリソキ、ツタヘタル。サラテハミナ見イタシタ
ルナリ。法相宗モ藏^{ソウ}俊^{シユン}ニアフトイヘトモ。法相ヲ學セス。ガノ人
ハ、カリヲナシテラシヘス。各目ヒトツソキ、トリタル。故慈眼
房モ分明ナラス。小乘戒ノ事ハ。非學生ナル。ワソカニ理觀
ハカリナリ。普通ニヨキ學生トイフモ。大乘ノ戒律ニヲキテハ。
予カコトク沙汰シタルモノハ。クナキナリ。當世ニヒロク書ヲ
披見シタルコトハ。ダシモオホエス。書ヲミルニ。コレハソノ事ヲ詮

ニハ。イフヨトミルコトノアリカタキ事ニテ侍ニラレハ書ヲトリテ
一見ヲクハフルニ。ソノコトヲ尺シタル書ヲナトミル。徳ノ侍ナ
リ。詮ハマツ篇目ヲミテ。大意フトルナリト。又ノイハク。自他
宗ノ學者。宗々所立ノ義ヲ。各別ニ心エス。シテ自宗ノ義
ニ違スルヲハ。ミナヒカコト、心エタルハイヒナキコトナリ。宗々
ミナ。ヲノヲノタツルトコロノ法門。各別ニウヘハ。諸宗ノ法
門一ト同ナルヘカラス。ミナ自宗ノ義ニ違スヘキ条ハ。勿論ナ
リトゾ。オホセラレケル

第二段

建仁二年。九月十九日談義ノトキ。上人語テノタニハク。
弘法大師ノ十住心論ハ。義尺ニヨリテツクリ給ヘルニ。義

シレク中
弘法大師
再治ノキ

脩

尺ニ違スルコトオホシカノ義尺ハ善無畏。三蔵ノ説ヲ。一行
阿闍梨記セラレタルナリ。一行ハイトナキ人ニテ。未再治
ニテヤミニシヲ。ノチニ再治ノ本志アルナリ。義尺ニハ極無自
性心ニ華嚴般若等ノ不思議ノ境界ヲ接ストコソアル
ヲ。弘法大師ノ再治ノ本ニハ。般若ヲハステ、ダ、華嚴ヲ
接ストカ、レタリ。又十住心ニ華嚴宗ソト尺セラレタリ。
十住心トイフハ。異生羶羊心。愚童持齋心。嬰童無畏
心。准蘊無我心。拔業因種心。他縁大乘心。覺心不生
心。一道無爲心。極無自性心。秘密莊嚴心ナリ。始ノ異
生羶羊心ハ。三惡道ナリ。ゴ、中ニ脩羅ヲ接ス。第二ハ人
道ナリ。コノナカニ。モロモロノ儒教ノ仁義禮智信等ヲ。接ス

ルナリ。第三八天道ナリ。コレニ老庄ノ教ヲ接ス。第六八法
 相宗。第七八二論宗。第八八天台宗。第九八華嚴宗。第
 十ハ真言宗ナル。ハレメノ一ノソキテ。餘ノ九種ノ住心ニ
 ハ。外典内典ノ種々ノ註教。ミナソノナカニ接セリ。シカシハ
 弘法大師ノ御心ニヨラハ。内外ノ典籍ミナコレヲ學スヘキ
 歟。コレニヨリテ。御室モ多聞廣學ヲコノミ。御沙汰アル歟
 才ホユルナリ。タ、シコノ十住心論ノ義ニ大ナル難アリ。義
 釋ニハアルヒハタ、經ヲ接ストイヒ。或ハタ、論ヲ接ストモイ
 ヘルヲ。一宗ニトリナシテ。華嚴宗ニ接ス。法華宗ニ接スナト。
 ヒキナサレタルハ。ヒカコト、オホユルナリ。モ、シソノ宗ニ接シテ。勝
 劣ヲ判セハ。タカヒニ是非アリ。ソノ宗論ニラキテハ。ムカシヨリ

イマタコトキレサルモノナリ。法華宗ハ華嚴宗ヨリモアサシト
 イハ、ステニ法華宗ノ心ニ遠セリ。イカテカヲシテ天台宗トハ
 イフヘキ。華嚴宗ノ心ハカリニテコソハアラメ。宗々タカヒニ淺
 深ヲアラソフ。ヨソニテタシカ定判セシ。オホヨソ一宗ノナラヒ。
 一一代聖教ニラキテ。淺深ヲ判スル。ツ子ノコトナリ。シカシハ一
 切經ハオナシク。釋迦一佛ノ所説ナシトモ。宗々ノ所學ニ
 シタカヒテ。淺深勝劣不同ナレ。イツレノ宗ノ一切經トイ
 フヘシ。天台宗ノ一切經アリ。華嚴宗ノ一切經アリ。乃至
 法相三論ニモテ。ノヲノ一切經アルヘシ。天台宗ノ一切經
 ノナカニハ。法華ヲスクレタリトスルカユヘシ。爾前ノ諸經ニ相
 對シテ。十勝ヲ立タリ。華嚴宗ノ一切經ニハ。華嚴ヲモキテ

スクレタリトス。三論ニハ諸大乘經顯道無異トハイヘトモ。
般若ヲ以テ至極トス。法相ニハ解深密經ヲモテモ眞實ト
ス。ガクノコトヲノヲノ所解不同ナルヲサヘテ宗々ヲ十
住心ニアテ、淺深ヲサタズル、条ソノイヒナキニトナリ。諸
宗ノナラヒ、タ、經ハカリヲコソ。淺深ヲモ勝劣ヲモ立タルコ
トニテアレ。イハシヤ善無畏ノ義釋ハズテニ經ハカリニ約セリ。
又義釋ニハ華嚴般若種々不思議ノ境界ヲ接ストイ
ヘルヲ。十住心論ニハ唯華嚴ニカキリアヤマリテソノ宗マテ
ヲ接シテ。般若ヲハ覺心不生心ニ接スルコト。又モチテ違
セリ。カクノコトキノ義ヲモチテ。ピソカニ難勢ヲクハヘタテニツル
ホトニ。イハニ二十餘年ニモヤナリヌラン。源平ノ亂ヨリサキ。

嗟^サ嗟^カニ住シタリシコロ。夢^{ユメ}ニミルヤウ。請用シテ他行シタリケ
ルソノアトニ弘法大師ヨリキト。マイラセタマヘトテ。御使ノ
候ツルト云ヲキ、テ。心ニオモフ様。内々難シ申コトノキコ
エタルヨナト。オモヘトモザアラシニツケテモト存シテスナハ千大
師ノ所ヘ參ス。五間ハカリ九家ノ板敷^{イタ}モナクヘタテモナク
テ。タ、内ニヨホラニ。ヌリメクラシタル壁^{カキ}ノクチモナキノミアリ。
大師ハコノウチニオハシマス。トオホユ。マツ外トニテコハツクロ
ヒブレタレハツノ壁^{カキ}ノクチヨリコナタヘト。仰セラル、聲アリ。ソ
ノ御聲ニツキテ。入テ壁ノクチヲミレハ。ガラニツノカナシ。カヘ
ノクツレヨリク、リ入レハ。大師壁ノキハニオハシマシテ。スナハ
千。胸^{ムネ}ニアハセテイタキアフ。大師ノ御顔^{オモて}ハ予カ左ノ肩^カニヲキ

タルトエロ
ノミアリ
ソノクツレ

給。カクテ前々難破スルコトモヲ。一々ニ會尺せしめたま
フ。コノヲキケトモナヲ驚動せしめハト申テ。カサ子テソノ義ヲ
難シタテマツラントスルト。オホシクテ。夢サメヌ。ノチニコシラ案
スルニ難シ申義ミナ。大師ノ御心ニアヒカナヘルカヒシトイ
タキアヒタテマツリタルコトハ。御意ニカナヒタルカ。ミユルナルヘ
シゲニモヨク難セラシタリト。オホシメセハコソ。夢ニモサマサマニ
會尺シ給ツラヌ。凡ハ後學ハ畏ヘシト云テ。學生ハカナラス
シモ。先達ナレハト。イフコトハナキナリ。カノ如來滅後五百年
ニ。五百ノ羅漢アツリテ。婆娑論ヲツクリシニ。九百年ニ
世親イテ。俱舍論ヲツクリテ。サキノ義ヲ破シ給キ。義ノ
是非ヲ論センコトハ。アナカキニ。上古ニモオソルマシキモノソト

ノオホセラレケル

第三段

上人ハ。モト天台ノ真言ヲナラヒ給ヘリ。シカルヲ。中河ノ阿
闍梨實範。フカシ上人ノ法器ヲ感シテ。許可灌頂ヲサツ
方宗ノ大事。ノコリナクコシラツタ。カノ實範ハ。東寺ノ流
中院ノ阿闍梨教真灌頂ノ弟子。カ子テ勸修寺ノ僧正
範俊ヲ師トス。タ、事相教相ニ達スルノミナラス。他宗ノ法
明ニタクカラサリケリ。シカレニ上人ヲ歸依ノアマリ。後ニハ
二字ヲタテマツリ。鑒真和向相傳ノ戒ヲウク。上人ハ圓
頓ノ戒法ヲ宗トシ給ヘリキ。シカルニ圓戒ヲサレヲキテ。カノ
相傳ノ戒ヲウケラシケル。サタメテフカキ心侍ケシカレ

第四段

上人智慧第一ノホマシキニタニ三千多聞廣學ノキコエ世
ニアマ子シオホヨソ我朝ニワタレル聖教傳記眼ニアテスト
インコトナシシカレハ本國ノ明師觀覺モ一字ヲタテニツル
黒谷ノ尊師徹空モ軌範トシ給ヒタ、教内ノ宗旨ニ達
スルノミアラス又教外ノ佛心ヲキロヲサクル宗門ハ先
達ナキユヘニコシテ決セストツ子ニテ給ケルトナニ圓頓戒談
義ノトキ成覺房幸西尋テイハ多クノ戒ハ諸法ノ至極ヲ
禪トストノ給ヘルモシレカラハ禪門トコノ戒體ト合スヤイ
ナヤト上人決シ給ハクコレハ教内ノ理法ナリカシハ脱心ノ
教外也ナニラモテカ合ストセシ得禪ノ人コノ戒ヲトカバ

此戒体トス
然山王院
師大師云
諸法至極

ヨイヨ正理ニ叶ヘシ禪人教ヲトケハ教文禪ニシタカフ教
人禪ヲトケハ禪門教ニシタカフ凡ソ真言正觀ヲモテ禪
ヲ推スヘキニアラスイハシヤ法相ニ論ヲヤイカニイハシヤ自
餘ノ小乗ノ宗ヲヤトサラニコレ教者ノ詞ニアラスニコトニ繩
ミシカクシテハ深泉ニイタリカタク翹ヨハクシテハ大虚ニカケル
コトナシ智アサク心ツタナクシテ宗門ニ達スルコトアラシヤサ
レハ禪ノ宗旨ヲ論セラシタル上人自筆ノ書イニアリ未學
ウシカフコトナカレ

第五段

式特上人月輪殿ニシテ山僧ト衆會ノ事侍シニ彼僧
浄土宗ヲ立給ナルハイツシノ文ニヨリテ立給ソヤトタツヌ

ルトキ善導ノ觀經疏ノ附屬ノ文ナリト答給ニ重テイハク。宗義ヲタツル程ノコトニナンツタ、一文ニヨルヘキヤト。上人敬咲シテ物モノ給ハサリケリ。カノ僧山ニ歸テノキ實地房ノ法印證真ニコノコトラ語テ法然房スヘテ返答ニヲヨハスト申ケルヲ法印申サレケルハ不足言ニ處スルユヘナリ。カノ上人ハ天台宗ノ達者タルヲヘアニサヘ諸宗ニワタリテアマ子クコレヲ習學シテ智慧深遠九事ツ子ノ人ニコエタリ。返答カナハスシテモノイハストオモフ。僻見サラニオコスヘカラストノ申サレケル。カノ法印ハツ子ニ上人ニ親近シテ法門ヲ談セシユヘニ智慧ノ分際ヲ知テ申サレケルニコソコトニ戒ノ法門ハ上人ニ相兼ノ人ナリ。カノ法印堅義ノ時ハ

教

凡

慧光房ノ永弁法印ヲ師トセラレケルニ元品ノ無明ハ妙覺智斷ニ惑ハ同時斷ノ義ヲ立ヘキヨシサツケ給ケルニ證真ハ一代聖敬ヲ見ニ三惑ハ異時斷元品ノ能治ハ等覺智也。此旨ヲ立ヘキヨシ申サレケルハソノ心ナルヘント。永弁法印ユルサレケルユヘニ等覺智斷ノ義ヲ立ス。澄憲法印題者ニテシラヘ給ケルニ。堅者五千餘卷ノ經卷ヲヒラキタルニイマタ妙覺智斷ノ文ヲミスト立スルニ見聞ノ大衆同音ニ博覽ヲ感スル聲甚シゾノ時澄憲法印堅者ステニ。智釵ヲフルス。題者アニワトカ子ヲヌカサランヤトトフ。各句ヲ申サレケル。弱年ノ昔猶カクノコトシ。况ヤ積學ノ後ヲヤ。一切經ヲ披覽スルコト五遍ナリ。シカレトモ。慧心院ノ僧

都ノ高覽ニ同セシコトヲ憚テ。三遍ノヨシヲ披露セラレケ
ルトカヤ。晝夜ニ地藏菩薩ニ物語シ。又オホツカナキコトア
シハ。中堂ニイリテ。藥師佛ニ尋タテマツリ。十禪師ニ詣シ
テ尋申ニ。必ス授ラシケリ。常ノコトハニハ。我師ハトラクハ。大
聖世尊。チカクハ天台妙樂トテ。末師ヲハモチ井ラレサリケリ。
往生傳ヲツクリテ。我身ヲカキイラシケルトカヤ。時ノ人地
藏ノ化身トソ申ケル。シカルニ彼法印上人ヲ智慧深遠ノ
人ナリト。申サレケルハ。本地ノ智慧トイヒ。垂迹ノ廣才トイ
ヒ。タカヒニ知タマヘルユヘナルヘシ。餘人ノ稱羨ヨリモ氣味
アリテソオホエ侍ル

第六段

上人ノ老後ニ。竹林房ノ靜嚴法印ノ弟子キムリテ。暨
義ノ才學ニシナヘシタメニ。天台宗ノ法門ヲタツジ申ケルニ。
クハシク深奥ヲサツケラシニケリ。カノ人ノチニ申ケルハ。老耄
ノウヘ。念佛ニヒマナクシテ。聖教ヲミサルヨシハ。申サレシカト
モ。文理ノアキラカナルコト。當時ノ勤學ニコエタマヘリ。タハ
人ニアラスト。ソノコロ山門ニ。碩學ハブレラナシキ。シカルニ數
輩ノ明近ヲサレヲキテ。隱遁ノ上人ニ宗ノ大事ヲタツ子
申ケル。ソノ達シ給ヘルホトモアラハレテソオホエ侍ル。上人カ
タリテノタマハクワレ聖教ヲ見サル日ナシ。木曾ノ冠者花
洛ニ亂入ノトキタ、一日聖教ヲ見サリキト。後ニハ念佛
ノイトマヲ惜テ。稱名ノ外ハ。他事ナカリケリ。後學ヨロシクツ

ノアトラニチフヘキニヤ

傳繪詞卷一終

傳繪詞卷一

三十一

一合十巻

十冊

上

行

イテ

